

ニュース リリース



「ガラスびんアワード 2012」（日本ガラスびん協会主催）において

平成 24 年度『灘^{なだ}の生一本^{きいっぽん}』が「環境優秀賞」受賞

この度、日本ガラスびん協会主催「ガラスびんアワード 2012」におきまして、エコロジーボトルを採用した平成 24 年度「灘の生一本」が「環境優秀賞」を受賞いたしました。

この「灘の生一本」は、灘五郷を中心に酒造技術者によって組織された灘酒研究会¹⁾の活動の一つである灘酒プロジェクトとして、平成 22 年から取り組んできたものです。同プロジェクトには、8 社（銘柄：大関・菊正宗・剣菱・桜正宗・沢の鶴・日本盛・白鹿・白鶴）が参加しています。

「ガラスびんアワード 2012」は、2011 年 12 月から 2012 年 12 月までに日本国内で発売されたガラスびんを使用した商品のうち、デザインや環境性、機能性などで特に優れていると認められるものを表彰する制度です。審査委員長には、リリー・フランキー氏、審査委員には富永美樹氏を迎えて実施されました。

今後も普及してほしい製品として「環境優秀賞」に選出された平成 24 年度「灘の生一本」エコロジーボトルの特長は、次の通りです。

- ① ビンからビンへのリサイクルが進んでいなかった有色カレットを主に、カレット使用割合 90% 以上のエコロジーボトルを開発し、さらに従来びんに比較して約 6%の軽量化も実現したこと。これにより天然資源だけからびんを製造するよりも大幅にCO₂排出量が削減できます。
- ② 単独企業によるエコロジーボトル採用の例はあるが、8 社もの同業者がビン形を統一し共同で取り組んでいること。
- ③ 「灘の生一本」に相応しい品質感のあるびんデザインに加えて、清酒の品質を損なう 280～430 μm波長の遮光性に優れていることから、用途の拡大が期待できること。

授賞式は、平成 25 年 3 月 21 日（木）に東京會館にて開催され、同日に日本ガラスびん協会 HP (<http://www.glassbottle.org/>) に各賞を受賞した商品と授賞式の模様がアップされる予定です。

本賞の受賞は、灘酒のブランド価値を上げるための灘酒プロジェクトに大きな励みとなります。日頃よりご支援いただいております皆様にあたためて感謝申し上げる次第でございます。

※ニュースリリースに掲載の情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なることがありますのでご了承ください。

注 1) 灘酒研究会：灘五郷および近隣地区の酒造技術者が集まり、日本酒醸造の技術向上に取り組んでいる研究グループ。1917 年発足。(HP <http://www.nada-ken.com/>)